

ひまわり通信

日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18220)



日本共産党
市川市議員

ひろた徳子



2026. 3 No. 116

2月議会代表質問を行いました（2月25日）

新年度を迎えるにあたり、重点施策と予算の使い方、継続事業の問題点などを中心に私が質問しました。今回は、教育についてに重点を置いて聞きました。

○「市川市教育振興大綱具体化パッケージ」において教員の増員、研修、予算。何より「(仮称)言語探究科」という新しい教科を先取りして行なうことを決めた経緯と必要性。

放課後子ども教室と放課後保育クラブを一緒にする考えを聞きました。

★新しいことを取り入れるにはもっと時間をかけ、現場の声を聴くべきで、教員や児童生徒に負担をかけないように進めてほしいと要望しました。

○国の指定を受けている脱炭素先行地域(妙典地区)の取り組みについて

○物価高騰に対する国からの交付金をデジタル地域通貨ICHIICOで全市民へ配布することについて

★4千5百円分がICHIICOカードで世帯人数分世帯主に郵送されます。アプリに入れると千円分プラスになります。ぜひ有効に使ってください。

○ゴールドシニア事業(チケット75)の変更点について

★バスのみ、タクシーのみ両方、A・B・C、希望に合わせて申請します。

○国民健康保険について

令和8年度より加算される子ども・子育て支援金についてと赤字解消のため今後の税率見直しの考えについて

★そもそも医療保険料に医療給付とは別の目的で使用することはおかしい。一度許してしまうと、何に使われてもいいことにならないか、市として、子育て支援金や保険料への補助を国に予算化するよう求めてほしいと要望しました。

○ペットボトルの分別方法が変わります。(4月1日から)集合住宅などはそれぞれに従ってください。



ペットボトルはラベルとキャップを外し、すすいで本体のみを市が準備するネットに入れます

○防災対策について



避難所開設・運営訓練の参加者を増やす考えと、備蓄品・防災用品の保管場所及び数量、マンホールトイレの活用について

★組み立て方など難しいものではありませんが、やってみないとわかりません。(ぜひ訓練にみなさんも参加してください)

○市営住宅についてでは、住んでいる人の過重負担にならないように、共用部分の管理や退去時の原状回復についてと現在の年1度の募集を増やす考えについて聞きました。

★決まり事などの答弁でしたが、網戸や小型湯沸し器などついていれば便利なものまで外すことはないのでは、と強調しました。

○行徳支所と第1庁舎をつなぐ「遠隔相談窓口システム」について

★まだ始まったばかりですが、今後業務の拡大でより便利になることを要望しました。

地域防災訓練in塩焼小学校 1月24日

塩焼小学校で行なわれた地域防災訓練に、自治会から3人とわれ私も参加しました。

何度か参加してはいますが、新しい備蓄品や設備が増えています。今回は、新たに校庭にある放課後保育クラブの建物の横にマンホールトイレが整備されました。下の写真は、市の職員が説明をしながら組み立てたところからです。始めて見た市民は感心して見ていましたが、いざ組み立てるとなると下水道管への接続や今回は行ないませんが、プールの水をポンプで入れなければ使えない。トイレの内外に電気がついていないなどのことで、改めて整備が必要で、防犯面から見ても不安が残りました。



左上写真のテントは、ファミリー用で3人は横になれます。簡易ベッ

ドも入る大きさです。体育館全体に敷くマットもクッション性があり、床の冷たさを感じません。多くの方に訓練に参加してもらい、体験してほしいと感じました。



1月22日議会改革特別委員会視察
福島県二本松市市議会議場にて

無料法律相談

次回4月14日(火)午後2時より
市役所 6F 共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。
334-1111 内線18220
までお電話ください。



新春のついで
1月31日
恒例の出し物は、スコップ三味線。人手が足りずみなさんの力をお借りして、ぶっつけ本番。それなりに盛り上がりました。

ひとりごと...早いもので今年もあいねすと(野鳥観察舎)の周りには河津桜が満開です。
ぴあばーく妙典も1周年を迎えました。平日の午後になると、どこからこんなに多くの子どもたちが来ているのかと思うほど集まり、自由な時間を過ごしています。また、午前中ややすみの日は、ちいさいお子さんを連れたママやパパでいっぱいです。こんな場所を望んでいたんだとあらためて思いました。新年度を迎える季節になると何となくワクワクします。選挙結果には肩を落としましたが、前向きに私に出来ることを探してみよう。
2月23日には市川社保協が再開総会を開き、県社保協の竹内さんによる学習もしました。社会保障を守るためには、と力をもらいました。